

ゆうかり放送委員会提供

# ゆうかりに乾杯

第51回放送の概要 (2012年6月30日放送)

## パーソナリティ

さくら (安本久美子)  
タロウ (佃 由晃)  
なかちゃん (中嶋邦弘)

## コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



## ミキサー

門ちゃん (門田成延)  
一ノ瀬悟

## 相談役

わだかん (和田幹司)

## 会計

小山俊則

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」, 抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。1階コローレではおいしいコーヒや紅茶、おいしいランチやお食事なども楽しめます。本日は「神戸ルミナスホテル」様 (TEL:078-511-7700)のご協力を頂きました。

## 1. ミュージック: キャロル・キング「You' ve Got a Friend」

今日は60歳を超えているが超大物のキャロル・キングのYou' ve Got a Friendです。本日のゲストは高校生であること、あこちゃんが本日高校卒業30周年の集まりがあるが、高校時代の友達にはずっと助けられているし、長い間会わなくても友情をはぐくんできた。若い皆さんには今を大事にしてほしいと思いこの曲を選んだ。

## 2. ゲストコーナー: 兵庫高校総合科学類型2年生、下江美穂さん、藤山奈美香さん、大前吉史先生 (69陽会)

これまで総合科学類型の生徒さんには放送にたくさん出演してもらっています。現3年生では「野菜を育ててみんなでやさしい心になろう」「私たちが丸五市場のために出来ること」「心と心をつなぐユニバーサルデザイン」など、他に兵庫高校初の女性ラグーマンの牧野円さん、現2年生では「平清盛」などのテーマに取り組んだ生徒さんに来ていただきました。

総合科学類型は、世界のトップリーダーを育成するという熱い思いから、従来の教育に何を加えればよいかを考えて作った。社会に求められる人材は、コミュニケーション能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力など様々な能力が求められる。勉強だけでなくそのような能力が身につくカリキュラムを考えた。今の3年生が最初の生徒であるため、来年卒業する時の進路が注目されている。カリキュラムの内容は、従来の科目に加え、学校オリジナルの教科「創造」を設置して、1年生は「創造基礎」として1学期は地域の課題を見つけ解決する、2学期は神戸大学の発達科学部に出かけ大学院生との理系分野の研究活動、3学期は1, 2学期の研究の延長として個人として研究する (1, 2学期はグループ研究)。2年生になると「創造応用I」として文系、理系に分かれる。文系は国際問題を中心に外部講師の先生、NGOの方、国際機関の方に来ていただき授業を受ける。また英語オンリーの授業もある。後半は各自でテーマを決めて研究活動を行う。理系は神戸大学の先生に研究活動に入ってもらい、兵庫県下最大のサイエンスフェアで発表する。

1年生の時から大学院生や大学の先生と接しているのも、今までの高校生では体験できなかった分野に踏み込み、そのことで進路も考えることを期待している。

本日は現役生徒のゲストとして、2年生の藤山奈美香さんと下江美穂さんにお越し頂きました。総合科学類型を選択した理由は、藤江さんは兵庫高校に憧れを持ち行きたいと思っていたこと、学校説明会で1期生の成果を聞き、普通の高校生では出来ないようなことに取り組んでいるのを見て、親に受験したいと言ったところ、駄目もとで行ったらと言ってくれた。入学し色々な事が出来たのでよかったと思う。下江さんは受験を早く終わらせたいと思ったこと、他の学校では出来ない体験が出来ることで選んだ。親は部活（弦楽部）をしてほしかったので、総合科学類型に入り部活をきっちりやるのかと言われた。夜間学校の湊川高校が併設されているので部活は17時20分まで、授業時間も普通科より1時間長いハンディがあり、授業と部活の両立は大変である。

入学しすぐに班活動に取り組んだテーマは「長田区の高齢化について考える」である。1年上の先輩が少子化を取り上げていたので、大前先生から高齢化を取り上げたらと言われた。長田区の西課長から長田区の課題を紹介してもらい、その中でも高齢化については詳しく話をされていたので生徒に勧めた。

研究の方法は、長田区役所で話を聞くと共に、ケアセンターながたの見学をし、話を聞いた。高齢化の実態については、23年度の資料では、神戸市全体で22.5%であるのに対し、長田区は28.8%と29%に近い高い高齢化率になっている。高い理由としては、阪神淡路大震災により長田区には復興住宅がたくさん建てられ、他区から移ってきた人がそのまま定住したこと、ケミカルシューズ産業には当初多くの若い人が従事していたが、その後も定住していることなどの要因によるものである。ケアセンターは行く前には病院の雰囲気を感じていた。内部は要介護度別に分かれており、話を出来ない方もいる。訪問介護やデイサービスにも力を入れており、職員の方の人数は多いと思った。職員の方と話をした結果、施設に入ることは家族とのかかわりが薄くなるように感じ、若い人は職員の方だけで活気が足りないと感じた。

長田は高齢者の方が多いのは、住みやすい環境があるからと思う。サポートしてくれる人が身近にいるとか、平地が多いとか、昔は栄えていたので市場や病院なども充実しており、昔ながらのコミュニティが残っている。長田区は見守り推進員が高齢者の家を訪問する制度があるが、推進員は若者の世代ではなく、高齢者と高校生の世代が触れ合うことはないという現状がわかった。

高校生の自分たちが高齢者の皆さんに出来ることとして、自分たちも楽しめる①楽器演奏、②昔ながらのお菓子作り（カルメラ）、③昔遊び（コマ廻し、お手玉、おじゃみ）などを考えたが、そのうち演奏会は、楽器はすでにあり費用も余りかからないので採用することにした。

演奏会はケアセンターのデイサービスに来られている方を対象に、ケアセンターのホールで行うこととし、ギターアンサンブル部から2人、弦楽部から20人程参加した。弦楽部は「メヌエット」他を演奏し、ギターアンサンブル部は「上を向いて歩こう」、「春一番」、「幸せなら手をたたこう」を演奏した。お客さんは初めデイサービスの方30人程度であったが、途中から要介護度の高い方も職員さんが連れて来られ、40人程度まで増えた。参加された方は歌ったり、手拍子をしたりして喜んでくれた。やってよかったと思った。また楽器体験として触ったり音を出してもらったりした。職員の方からは、若い子が来てくれてみんな喜んでくれていてよという話を聞いた。自分たちとしても、軽音楽はうるさいだけと思われるのではと思っていたが、予想以上に盛り上がり、とてもよかった。

2年生になって、今まで取り組んできたことは今後どのようになるかについて、藤山さんは演奏会を続けたいと考えている。現1年生も高齢化のテーマを取り上げている班があるので、その班と協力して



高齢者ケアセンターながた

やりたい。灘区や中央区では保育所の子供が介護の施設や老人ホームを訪問したり、また保育所と高齢者施設を併設し、高齢者から色んな話を聞いて刺激を受けるといった施設が増えている。核家族化の流れが以前に戻っているようなところがある。

入学直後に始まった班活動は、クラスの人がよくわからない段階で班編成が 50 音順で決められ、コミュニケーションを取りづらい中で、リーダーシップをとる生徒が出てきてまとまりが生まれ、各人の個性もわかってきた。フィールドワークで大人の人から話を聞いたが、大人の優しさを感じた。学校外の人に対しては、先生に対しては感じない責任を感じた。1 年間の班活動の結果としてよかったことは、クラスが仲良くなれたこと、学校外での繋がりが出来たことである。下江さんは 2 年生で国際問題に取り組んでいるので、1 年生で取り組んだ課題の「高齢化」が国際関係と結び付くものはないか探してみたいと思っている。

大前先生からみた今日紹介された班活動は、フィールドワークで課題を見つけ、企画を施設に持ち込み、交渉・打ち合わせをし、最終的に 1.5 時間程度の企画を、弦楽部、ギターアンサンブル部に声をかけをし、有志を募ってやり遂げた。よく頑張ったと思う。来年 3 月で総合科学類型が一巡（3 年間）するが、企画半ばで終わった班もあるが、研究活動が地域のボランティア活動、地域貢献に繋がってきている。2 年生の理数系は他校と肩を並べるまでの研究活動が出来ており、今後文系の国際社会について、どこか発表できる場所があれば、生徒のモチベーションが上がるのではないかと考えている。1 年生の班活動の経験が、2 年生になって自然科学と国際社会の緒問題についてのテーマを見つけ、どのように解決していくかの研究活動に繋がっていく。

総合科学類型が出来る前の兵庫高校と地域の繋がりは、清掃活動程度であった。しかし高校生鉄人化まつりは、兵庫高校生が企画し他校に声をかけて出来あがったものであり、また、丸五の応援歌を作ったり、平清盛のイベントの企画をし、多人数の生徒が出演するなど、地元とのつながりが深くなってきている。地域から期待される存在になってきているので、さらなる取り組みをお願いしたいと思います。

### 3. なかちゃんの「こぼれた話、こぼれなかった話」：若者よ、身近な歴史に興味を持って

若い方は自分たちに身近な歴史、郷土の歴史について、どのくらいご存知でしょうか。私たちの先祖や近くに住んでいた人々の足跡、はたまた、あの有名な誰もが知っている歴史上の人物が、この郷土を闊歩していたのです。

それでは、この近く、たかとの FM 局や兵庫高校の周辺に視点を置いてお話ししましょう。

- (1) まず、飛鳥時代 645 年、大化の改新を断行した中大兄皇子、天智天皇が外敵（唐や新羅）の侵略に備えて、武器庫を各地に造りました。兵庫県の「兵庫」の意味は兵器庫のある地だったからです。その兵器庫はどこにあったのでしょうか。「室内」、兵庫高校のある室内地区（なだらかな丘の上）と伝わっています。
- (2) 次に、今話題の平清盛が 1180 年、福原に遷都して、大掛かりな都造りを手掛けようとしていました。それが「和田京」と区別されています。その和田京の位置は諸説ありますが、通常の南北説（京都と同じ東西南北に区画）以外に傾斜説もあって、これによると、宮城の正面玄関の朱雀門から延びるメイン道路、朱雀大路は、兵庫高校、室内の南を横切る今の上沢通りに当たることになってます。

源平の合戦にかかる旧跡は、この附近にもたくさんありますね。

- (3) また、高校の東にある「会下山」。これは、南北朝時代 1336 年、鎌倉時代から室町時代への転換期ですが、後醍醐天皇方に組した楠木正成が、JR 兵庫駅南附近に本陣を構えた新田義貞とともに、九州から攻め戻ってきた足利尊氏の軍を迎え撃つために会下山の陣を張ったところでした。和田岬から上陸した足利軍に新田軍は総崩れで敗走、楠木軍は会下山に孤立し奮戦するも壊滅し、一族は自決しました。その終焉の地が湊川神社の背後の森でした。
- (4) 後に、江戸時代になって、先の天下の副将軍水戸光圀公（黄門様）が佐々木助三郎（助さん）

を遣わして、楠木正成を顕彰する石碑「嗚呼忠臣楠氏之墓」と自ら揮毫して、湊川神社のところにあった粗末な墓所に建立させました。昭和30年（1955年）に、その墓所の横に、黄門様の銅像も建てられました。

- (5) 明治35年（1902年）に新開地筋を流れ下っていた湊川を付け替えて、川を会下山にトンネルを掘って西に通して長田神社南で宮川（苅藻川）に繋ぎました。これで、会下山西方に広がっていた「武陽が原」を突っ切った新湊川ができました。もちろん、兵庫高校の場所ですね。元の川筋だった開拓地がその後の神戸の繁栄の拠点となった、いわゆる新しく開いた地「新開地」です。
- (6) 最近では、昭和13年（1938年）7月3日から5日にかけて神戸六甲山南麓を襲った集中豪雨で旧市街地は洪水被害が出ました。「阪神大水害」です。東灘から須磨にかけて、勿論この周辺も本当にひどい災害でした。このノーベル文学賞の谷崎潤一郎の小説『細雪』にも、この阪神大水害の状況が詳しく織り込まれています。死者616名、家屋の全半壊・流失・埋没が約1万1千戸、床上床下浸水約8万戸にのぼる大災害でした。
- (7) 昭和20年（1945年）太平洋戦争が終局を迎えようとしていた頃、米軍の爆撃機大編隊が神戸を襲いました。3月17日と6月5日は兵庫区や林田区（長田区）など西神戸にも大きな被害がでました。「神戸大空襲」と呼ばれています。被害は今もはっきりしていませんが、市街地の約2割が焼失、少なくとも約1万人弱の市民が犠牲になり、15万人の負傷者、焼失家屋約15万戸、延65万人が被災しました。
- (8) そして、ついこの間の「阪神・淡路大震災」が起きました。これについては、みなさん、よくご存知なので、説明は省きましょう。

この様に身近なところに限っただけでも、すごい出来事があったことが解りますね。現代社会の動きの要因・背景には、こういった歴史が存在していることが多くあります。私たちは、これらの歴史を踏まえた現在を生きています。歴史を知るとは未来を知ることにも繋がっているのです。是非、郷土の歴史に興味を持って知って下さいね。

#### 4. ゆうかり大好きコアラさんの地域かわら版

7月8日（日）、沖縄の島守、島田観さんを憶う夕べが神戸朝日ホールで17時に開演します。ギターアンサンブル部の大先輩鈴木一郎さんも演奏されます。7月19日（木）プロムジカ女性合唱団の演奏会が神戸新聞松方ホールで開催されます。ユーカリプタスも出演します。18時30分開演で一般4000円です。



## 5. 来月のゲスト

来月は近畿タクシー社長の森崎清登さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：[yuukarinikanpai@gmail.com](mailto:yuukarinikanpai@gmail.com)